



昭和電工セラミックス株式会社

本レポートの内容に関する
お問い合わせは以下へお願いします。

本社・塩尻工場 総務部
〒399-6461
長野県塩尻市大字宗賀 1
Tel : 0263-52-0180
Fax : 0263-52-2995

富山工場 CSR グループ
〒931-8577
富山県富山市西宮町 3-1
Tel : 076-437-9201
Fax : 076-437-6600

横浜工場 CSR グループ
〒221-8517
神奈川県横浜市神奈川区恵比須町 8
Tel : 045-453-5111
Fax : 045-453-5004

ホームページは
こちらから



<https://www.sdk.co.jp/ceramics/>



昭和電工セラミックス株式会社

CSR REPORT 2022



2022年7月発行

化学のプロフェッショナルとして、 化学の力で持続可能な社会に貢献します。

統合新会社の経営理念

Purpose/存在意義

化学の力で社会を変える

先端材料パートナーとして時代が求める機能を創出し、
グローバル社会の持続可能な発展に貢献する

Values/私たちが大切にしている価値観

プロフェッショナルとしての 成果へのこだわり

仕事に情熱と誇りを持つ
実力主義、成果にこだわる
結果、グローバルで認められる一流としての実力を持つ

枠を超える オープンマインド

互いへの信頼と尊重を示す
オープンに、領域を定めず関わりあう
結果、内外のステークホルダーとの共創を実現する

機敏さと柔軟性

挑戦を称賛し失敗に寛容になる
思考と行動に柔軟性とスピードを持つ
結果、組織としての基本速度をあげる

未来への先見性と 高い倫理観

化学と真摯に向き合う
数世代先の未来を見通す先見性を持つ
化学技術への自律した倫理観と
全てのステークホルダーに対する誠実さを持つ



CONTENTS

- 01 経営理念
- 03 トップメッセージ
会社概要・沿革・編集方針
- 05 昭和電工セラミックスのCSR
- 07 快適な暮らしを支える
「素材」を作っています。
- 09 **特集** マンガでSDGs
マンガで見る
昭和電工セラミックスの取り組み
**すこやか！
さわやか！
健康のススメ**
- 13 組織統治
- 15 人権
- 17 労働慣行
- 21 公正な事業慣行・消費者課題
- 23 環境
- 25 環境データ
- 27 コミュニティへの参画
およびコミュニティの発展
- 29 2022年CSR行動計画
- 30 未来への取り組み

時代が求める機能を創出し、 グローバル社会の持続可能な発展に貢献する。



世界は、新型コロナウイルスによる感染症の拡大、気候変動、人口増加に伴う食料・水・資源の不足、原燃料・エネルギーの持続可能性、デジタル技術の飛躍的發展などの潮流のただ中にあります。

このような中、昭和電工(株)は2023年1月に昭和電工マテリアルズ(株)との統合を予定しています。

当社は、昭和電工グループの企業として、統合新会社の経営理念である「存在意義(パーパス)と社員が大切に
する価値観(バリュー)」、すなわち存在意義(パーパス)
「化学の力で社会を変える」と4つの価値観(バリュー)「プロ
フェッショナルとしての成果へのこだわり」「機敏さと柔軟性」
「枠を超えるオープンマインド」「未来への先見性と高い倫理観」、
のもと事業に取り組み、昭和電工グループのめざす姿「世界で戦える会社」「持続可能なグローバル社会に貢献する会社」を実現してまいります。

CSRは事業活動と密接不可分の関係にあり、当社は、昭和電工グループCSR方針である「事業活動を通じたSDGs課題解決への貢献と『私たちの行動

規範』に基づく全社員の行動によりすべてのステークホルダーにご満足いただける社会貢献企業を目指します」を事業の根幹と位置付けています。

当社が製造している製品の多くは消費財の上流に位置する基礎製品・素材・部材です。消費者の皆さまが直接目にする機会は多くありませんが、社会基盤を支える必要不可欠な製品であり、私たちにはそれらの製品をお客様へ安定的に供給する責務があります。お客様と共に社会課題を解決するためには、さらに、お客様を中心にとらえたカスタマー・エクスペリエンス(顧客体験価値創造:お客様の視点に立ったもの創り)の最大化と、製品という枠にとどまらないソリューションの提供が求められていると考えています。

そこで、私たちは、当社が有する多様なセラミックス製品および技術を世界トップクラスに引き上げ続け、社会課題を解決し、お客様の期待を超える一流のセラミックス製品・サービスを提供することを目指し、CSR活動の一層のレベルアップを進めてまいります。

代表取締役社長 飯塚 誠

会社概要

- 昭和電工セラミックス株式会社
(昭和電工株式会社の100%子会社)
- 社 長 / 飯塚 誠
- 設 立 / 1985年11月
- 資 本 金 / 460百万円
- 従 業 員 / 356人(2022年1月4日現在)
- 事業内容 / 研削材、耐火材、超高压製品、
ファインセラミックス成形体、
フィルター材、酸化チタン、
ガラス用鏡面研磨材の製造、販売
- 拠 点
 - 本社・塩尻工場
所 在 地 / 長野県塩尻市大字宗賀1
敷地面積 / 300,000m²
従業員数 / 159名(2022年1月4日現在)
 - 富山工場
所 在 地 / 富山県富山市西宮町3-1
敷地面積 / 210,000m²
従業員数 / 138名(2022年1月4日現在)
 - 横浜工場
所 在 地 / 神奈川県横浜市神奈川区恵比須町8
敷地面積 / 189,000m²
従業員数 / 59名(2022年1月4日現在)
- 昭和電工株式会社
- 社 長 / 高橋 秀仁
- 設 立 / 1939年6月
- 資 本 金 / 140,564百万円
- 従 業 員 / 連結 26,054名
単独 3,298名(2021年12月31日現在)
- 本社所在地 / 東京都港区芝大門1-13-9
- 事業内容 / 半導体・電位材料、モビリティ、
イノベーション材料、ケミカル

沿革

- 1933年 10月 日満アルミニウム株式会社としてアルミニウムの製造を開始
- 1943年 10月 日満アルミニウム株式会社を昭和電工株式会社に吸収合併し、昭和電工株式会社富山工場となる
- 1946年 10月 カーバイド、石灰窒素肥料の製造を開始
- 1959年 4月 高炭素フェロクロムの製造を開始
- 1969年 8月 高炭素フェロニッケルの製造を開始
- 1983年 1月 熔融シリカの製造を開始
- 1983年 11月 スポンジチタンの製造を開始
- 1987年 1月 球状アルミナの製造を開始
- 1988年 7月 高純度酸化チタンの製造を開始
- 1994年 3月 空気分離装置の受託生産を開始
- 2014年 1月 昭和電工セラミックス株式会社に商号を変更
- 2014年 10月 東北金属化学株式会社吸収合併によりSHOROX® 生産を移行
- 2015年 10月 横浜工場設立
- 2021年 7月 CMPスラリーの製造を開始

CSR (Corporate Social Responsibility)

企業が事業活動において利益を追求するだけでなく、様々なステークホルダーとの関係を重視しながら果たす社会貢献のこと。その対象は環境、労働、安全、衛生、人権、雇用創出、品質など幅広い分野に拡大している。

CSRレポートの報告対象範囲

昭和電工セラミックス株式会社 塩尻工場・富山工場・横浜工場を対象としています。2021年の1月～12月の情報に2022年の情報を付け加えています。環境データの一部は2021年4月～2022年3月のものです。

編集方針

本レポートは、社会的責任に関する国際的な規格であるISO26000に沿って構成され、お客様、地域社会、取引先、従業員の皆様と私どもを結び、コミュニケーションを深めていただく事を目的に作成いたしました。

本冊子を手にとった方に、素材メーカーである当社がどのように社会とつながっているか、CSR活動の取り組み事例を挙げながら出来る限りわかりやすく報告するように努めています。

本レポートをお読みいただき、興味を持っていただけたら工場へぜひ足をお運びください。

皆様との交流を深めながら、CSR活動に関する意見や情報交換する機会を持っていただいております。

昭和電工セラミックスのCSR

当社は昭和電工グループが掲げるCSR方針のもと、従業員一人ひとりがCSR活動を進めています。

特に工場の近隣地区の皆様や近隣企業との相互理解を深めるため、

工場見学会の開催、意見交換、情報交換、地域行事への参加など

積極的な取り組みを通して皆様と交流を図り、

社会、地域の持続的発展に貢献していきます。



塩尻工場

塩尻工場は、四季折々の姿を見せる日本アルプスを臨み、日本海に注ぐ千曲川の源流の地にあります。

豊かな自然環境との
相応が求められる地に拠点を構え、
事業の展開を図っています。



富山工場

富山工場は、豊かな海の幸に恵まれた富山湾に面し、後ろに立山連峰を臨む富山平野にあります。



横浜工場

横浜工場は、東京湾を含む自然環境と、機能性に優れたビジネス空間が共存する環境未来都市にあります。

昭和電工グループ CSR 方針

当社グループの考えるCSRとは、事業活動を通じたSDGs課題解決への貢献と、「私たちの行動規範」に基づく全社員の行動によりすべてのステークホルダーにご満足いただける社会貢献企業を目指すことです。当社グループは、製品・技術・サービスの提供により、豊かさを持続性が調和する社会の創造に貢献していきます。

[重要テーマ]

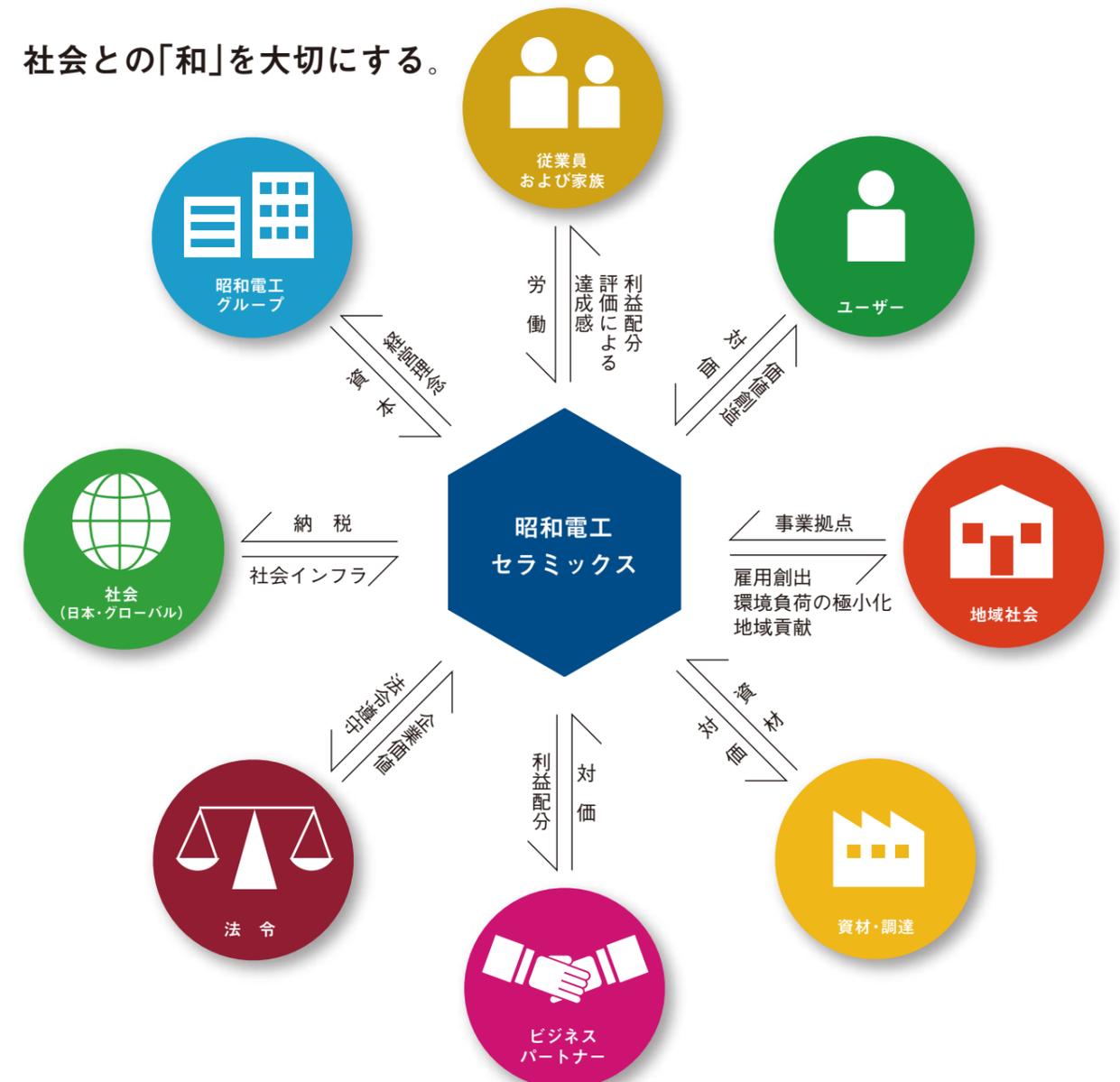
「安全とコンプライアンスを基盤としたリスクマネジメントの深化と
CSRコミュニケーションをもとにした機会の創出による経済的価値・社会的価値の創造」

技術・製品・サービスの有効活用による、豊かさを持続性の調和する社会創造への貢献

持続可能な社会のため、また製造業の使命としての環境課題への取り組み

国際社会と当社グループの持続可能な成長に資するひとつづくり

社会との「和」を大切にする。



素材を通して、化学の力で 未来の社会環境を変えていきます。

当社製品の多くは、様々な製品の素材・部材として使われています。
直接皆様の目に触れる機会の少ないものですが、社会の発展、
皆様の暮らし・生活を便利にするために欠かせない役割を担っています。
また、私たちはSDGsがめざす持続可能な社会の実現に向け、
製品・技術・サービスを提供しています。

SDGs(持続可能な開発目標)達成への取り組み

2015年9月に開催された「国連持続可能な開発サミット」で150を超える加盟国首脳に参加のもと、その成果として「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択されました。このアジェンダで2030年までに達成すべき目標として掲げられたのが、17のゴールと169のターゲットからなる「持続可能な開発目標(SDGs)」です。

SDGsは官民共通の目標として課題解決を求められていることが特徴です。昭和電工セラミックスは、事業を通じて持続可能な社会の実現に貢献していきます。



丸み状アルミナASシリーズ

結晶の角が少ない単粒状のコランダムです。
粒子径が大きく、ブロードな粒度分布を有する
ため樹脂への充填性に優れ、粘度が低く流動
性に優れたコンパウンドを得ることができます。



こんなところに使われています!



●放熱性の良さを活かし
放熱シートなどに使用



低ソーダアルミナALシリーズ

当社独自の技術によりソーダ含有量を低減させた α アルミナです。 α 結晶の大きさ、形状、分布などを調整した各種ラインナップを揃えており、特に微粒アルミナは樹脂中の微粒成分として、粗粒成分と組み合わせて使用されています。



こんなところに使われています!



●電柱や送電鉄塔などの碍子
●スパークプラグ



SHOROX®

酸化セリウムを主原料とした鏡面研磨材です。液晶パネルや光学ガラス、ガラスハードディスクなど高精度な仕上げ面に要求される工程で使用されています。



こんなところに使われています!



●カメラレンズや
センサーレンズの
最終研磨



ショウビーエヌ® UHP

高い熱伝導性、化学的安定性を兼ね備えたユニークな材料として、潤滑・離型材、各種セラミックス原料、放熱フィラーなど、様々な分野で使用されています。



こんなところに使われています!



●電子回路の
放熱部材



SBN K-TIP® (エスピーエヌKチップ)

自動車部品をはじめとする鉄系材料の研削・切削加工用素材として広く利用されている他、難研削材の加工にも使用されています。



こんなところに使われています!



●自動車部品の
研削用の刃先



アルナビーズ® CB®

丸みを帯びた結晶で粒度分布の広さから高い充填性能を有し、高純度で電気特性・耐湿性にも優れているため、放熱材やフィラー/増量材・特殊プラスト材として広く使用されています。



こんなところに使われています!



●熱伝導性充填材
●合成樹脂・ゴムへの充填材
●フィラー・プラスト材



スーパータイタニア® (酸化チタン)

四塩化チタンを原料とした超微粒子酸化チタンを用いて生産され、最先端のプロセス制御技術を用いて生産され、電子材料・各種フィラー等に利用されています。



こんなところに使われています!



●積層セラミックスコンデンサ
●電子材料用途
●各種フィラー材料



ホワイトモランダム® WA

自動車や産業機械に使用される部品、部材などの研削・研磨のための研削砥石、切断砥石、研磨布紙(ベルト)などに使用されています。



こんなところに使われています!



●精密研削砥石
●研磨布紙用
●耐火用煉瓦

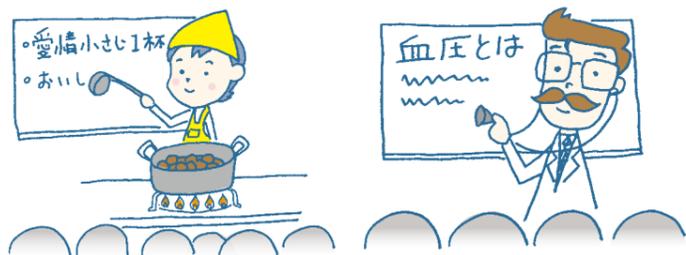


すこやか!
さわやか!

健康のススメ

なるほど！わかりやすく！楽しく！健康に！

【専門家による健康セミナー】



一口に健康増進といっても、年齢や嗜好、生活スタイル・習慣などによって人それぞれ捉え方はまちまちで、そこには様々な課題が隠されています。

これらを、産業医や外部講師などの専門家による解説を踏まえて各人の生活に置き換え、今、何をすべきかを考える場を提供しています。睡眠や食事は、健康維持の根幹をなす重要なものですが、忙しい毎日の中ではついおざなりになり、健康への心がけはどこから手を付けたらよいのかわかりづらいものです。

セミナーでは、管理栄養士がつくった減塩料理を食べてみるなど五感までをも動員して詳しく分かりやすい説明を行います。また、時には健康クイズやこぼれ話など面白おかしく学ぶ工夫も取り入れています。

シヨウ(昭)さん

工場に勤務する男性従業員。愛される工場を目指すべく日々、社内外の関係者と良好な関係作りに奮闘中。行動力では誰にも負けたくないと思気込む。休日もアグレッシブに行動するタイプ。



3 すべての人に健康と福祉を



近年話題となっている「健康経営」。従業員の健康増進を重視し、健康管理を経営課題として捉え、その実践を図ることで従業員の健康の維持・増進と会社の生産性向上を目指す経営のことです。昭和電工セラミックスでも、従業員の健康で健やかな毎日を企業の発展につなげるために健康経営を推進し、成果をあげています。

がんばった証をみんなで勝ち取ろう！

【従業員参加型活動】

従業員等の健康保持・増進の取り組みが、将来的に企業の収益性等を高める投資であると捉え、従業員等の健康づくりを経営的な視点から考え、戦略的に実践する「健康経営」に取り組む事業所を、横浜市が横浜健康経営認証事業所として認証する制度です。

昭和電工(株)横浜事業所は、「横浜健康経営認証2021」に応募し、最高ランクであるクラスAAAに認証されました。

また、毎年、健康チャレンジ活動として、従業員一人一人が運動・食事・日常生活に関する行動目標を2つ選択し、全員共通の3つの行動目標と合わせて5つの行動目標について、日々の実績を記録表に入力していきます。決められた期間で職場ごとの参加率によって表彰が行われます。



セラさん

工場に勤務する女性従業員。フットワークの軽さはお墨付き。笑顔と話術で工場見学を訪れた方を次々に虜にしている。食事の際に気をつけていることは野菜から食べることにしている。



デン(電)くん

工場の近所に住む小学生。以前、工場見学に来てから昭和電工セラミックスの取り組みに個人的に興味を持ち、再び訪れた。



健康はみんないっしょに意識改革から！

【健康への意識改革】

ついつい食べ過ぎるお菓子、夜更かししてのゲームや喫煙、深酒、運動不足など、健康を脅かす甘い誘いを断ち切ることは、なかなか一筋縄ではいきません。

これらが習慣化すると、やる気が出ない、体がだるいなどの症状が常態化して仕事の効率が下がるだけでなく不注意からケガをしやすくなるなど災害に見舞われやすい土壌を自らつくり上げてしまいます。

意識は個々が培ってきた習慣や経験に深く根差したものであり、些細なきっかけで改善されることもあります。なかなか一人では行動に移せません。当社では、勤務時間内の場内禁煙など「心が変われば行動が変わる」を具体化するためのきっかけや枠組み、制度整備を進めています。



積極的に活動に参加して健康づくり

【健康活動】

従業員ひとり一人が健康でいきいきと働ける会社を実現するために引き続き健康増進活動に取り組んでいきます。

出張座禅会

6月3日、坐禅初心者への専門指導・日本一ゆるい坐禅指導を掲げて活動している住職お二人zencafe代表 竹村住職、上野副住職を迎え、メンタルヘルス教育(セルフケア)の一環として出張座禅会を開催し27名の方が参加しました。坐禅会では心の健康に関する講話、坐禅の組み方、姿勢、呼吸の仕方を教わり、20分間の坐禅体験を行いました。



ウォーキングトライアルレース

あらかじめ決められたコースを、何分で歩けるか自己申告してスタートし、ゴール後に自己申告したタイムと実際に歩いたタイムの差を競い合う健康イベントです。2021年は延べ4回開催し52名が参加しました。

1 当社では、健康のための
いろんな試みがされて
いるんだよ。

2 日常の中でカンタンに
取り組みができるように
自動販売機に特保飲料を
ラインナップしたり。

健康は毎日の
気づかいの
積み重ね!

3 また、血圧計をレンタルして、
値を記録し継続的な
アプローチで本人の
意識の向上を図ったり。

4 毎日健康で働けるように
環境づくりを
整えているんだね。

さらに熱中症予防の
チェックシートや、
注意喚起の放送を
流したりするんだ。

1 健康づくり
活動として
いろいろ
チャレンジ
してるの。

2 運動・食事・日常生活に
関する目標を立て、
達成すると表彰
されるんだよね。

健康に
チャレンジ!
自分に
チャレンジ!

3 その取り組みの
おかげで横浜市から
健康経営認証の
最高ランクも
いただいたのよ!

4 社員一丸で
挑んだ証だね!

1 健康増進のために、
いろんな
健康セミナーも
やってるんだ。

2 管理栄養士による料理教室や
楽しく健康について学ぶ
健康クイズとか...

もっと学ぼう
健康のこと!

3 出張坐禅会ではメンタルヘルスにも
取り組んだりしてるんだ。

4 身も心もずっと
健康でいたい
ものですな〜。

1 健康診断は、
受けるだけでなく、
結果の見方が
大事なんだよ。

2 「どこに問題があるか」
「起こりうるリスクは
何か」を知ることは
大事よね。

自分を
知ることが
健康になる
コツ

3 産業医がそれぞれに合った
診断結果の見方を教えてくれて
アドバイスしてくれるんだ。

4 診断だけでなく、
その後のフォローにも
力を入れているんだね。

ISO26000の中核課題

組織統治



法令を遵守することはもとより、高い倫理観を持って行動します。

- 担当業務に関する法令・協定・会社の規程・規則や正しい手続きの仕方およびそれらの変化を理解し、遵守します。
- 国内外の法令を遵守し、世界人権宣言や様々な国連条約を尊重し行動します。
- ルール化されていないことであっても、誠実な言動を心がけ、社会の一員としてステークホルダーから信頼されるように行動します。

私たちの行動規範／コンプライアンス

昭和電工グループの考えるCSRとは、「事業活動を通じたSDGs課題解決への貢献と、私たちの行動規範に基づく全社員の行動によりすべてのステークホルダーにご満足いただける社会貢献企業を目指すこと」です。

当社では、私たちの行動規範に掲げる9項目に則り、私

たち一人ひとりがステークホルダーに対して何をすべきかを考え、行動しなければならないことを挙げて、各部署でディスカッションを行っています。

昭和電工グループの一員としての責任を果たし、国際社会の持続的発展に貢献していきます。



取締役会

取締役会では、当社の基本方針を決定するとともに会社法および定款で定められた事項および重要な業務執行案件について、審議を経たうえで決定し、経営の意思決定機能の迅速化と活性化を図っています。当社では、計画的に取締役会、定時株主総会、監査役監査を実施しています。

2021年実績

取締役会／年8回(書面決議含む)

2月17日、3月5日、18日、6月22日、
9月10日、21日、10月15日、12月21日

定時株主総会／年3回 書面決議含む

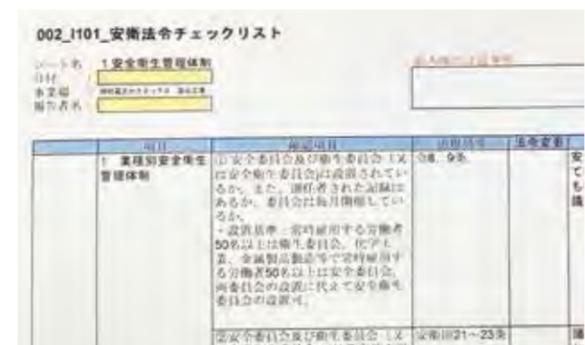
3月18日、8月2日、9月17日

遵守評価

法規制に則り適正な管理並びに対策実施が取られているか、毎年全部署でコンプライアンスチェックリストを活用して確認しています。

リストは、環境・安全・化学物質に係る法令をカバーした約500の設問からなり、継続してチェックを行うことで進捗の度合いや新たな法規制への対応、これらに係る社内体系の整備や規程類等の文書整備を行うことができます。

近年は、化学物質に関する規制が厳しくなり事業者に課せられる責任も益々大きくなってきていますが、このリストを活用することで漏れの無いチェックを行うことができます。



監査役監査

昭和電工グループ監査役による監査を毎年実施しています。工場概況、生産概況、技術・開発課題の進捗等、現地実査を通じて、経営の健全性確保のための提言、助言、指導を受けています。また当社監査役による監査では、監査役が取締役会その他重要な会議に参加し職務の執行状況を確認したり、重要な決裁書類や業務及び財産の状況を現地に調査しています。

内部監査

2015年、当社発足を機に、監査員の技能向上と他工場の生産品や業務を学び自職場に生かすことを目的に、3工場で共通テーマにより内部監査を実施し、情報の共有とシナジー効果による活動の促進を行っています。

年度ごと事前に、監査事務局が各工場を抱える課題や問題点を持ち寄って協議し、その中からテーマを選定します。同じ視点から様々な監査員による監査を実施することで特徴ある取り組みや考え方、そして新たな課題を発見する機会として活用されています。第三者機関による外部監査と異なり、監査員に任命された面々が自由な視点で専門業務とは異なる部門の監査を行うことで、品質・環境・安全の取り組みへの理解が一層深まると共に、部署間の相互理解によるコミュニケーション活性化にも一役買っています。毎年対象となる部門と監査員をローテーションすることにより、多くの学びと交流の場を提供しています。



富山工場 内部監査の様子

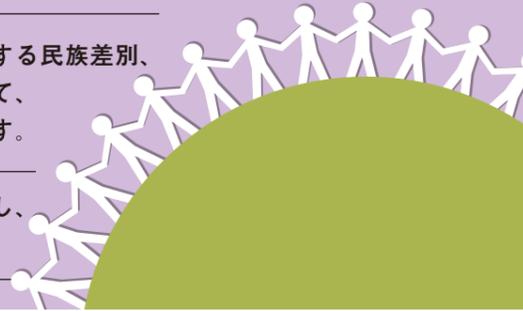


人権



人権を尊重し、個性の尊重、自由な発想、建設的な議論により、新たな価値を創造します。

- 一人ひとりが社内外で差別行為をしないことに加え、国際社会に存在する民族差別、階級差別、児童労働、強制労働、貧困問題などの人権問題の解決に向けて、サプライチェーンに働きかけるなど、人権尊重に積極的に取り組みます。
- 多様な人材が互いにその個性を尊重し、前例にとらわれず自由に発想し、建設的に議論することで、新たな価値を生む風土を目指します。

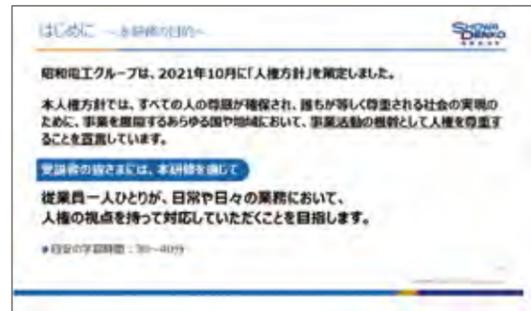


人権教育

昭和電工グループは、誰一人取り残されることなく、すべての人の尊厳が確保され、誰もが等しく尊重される社会の実現のために、事業を展開するあらゆる国や地域において、事業活動の根幹として人権を尊重します。

当社では、ジェンダー平等や差別・不平等といった人権について考える機会が増えてきました。

巷にあふれる様々な情報や意見、個々の権利をどのように解釈し、対応策や妥協点を見いだしたら良いのか、ショートケースを用いて解決の糸口を学ぶ機会を設けています。身近で起こりうるケースを題材に、職場単位でディスカッションを行い、様々な意見や考え方を学ぶことによりコミュニケーションの重要性を再認識すると共に人権への理解を深め、自発的な行動を促すきっかけとしています。



オンラインにて「ビジネスと人権2021 基礎研修を実施

2021 年実績

「企業と人権」の基礎をe-learningにて受講

Stakeholder Voice

安全から安心の企業へ。



労働安全衛生コンサルタント
社会保険労務士 ばば事務所

馬場 孝幸 さん

昭和電工セラミックス様は安全に対するコンプライアンス意識が非常に高いと感じています。労働安全衛生法は、事業場に潜在するリスクの大きさはそれぞれ異なるにも関わらず、すべての事業場に一律の規制をかけているものや、過去にあまり発生していない災害については、規制がされなかつたりすることがあります。その結果、法だけを守っていても災害が比較的多く発生してしまうことがあります。そのような背景から、国は法令による具体的な規制や基準を減らし、事業場ごと自主的なリスク管理をするよう方針転換することを決めているようです。今後は事業者責任がより明確になっていくものと思われ、事業場ごとに安全管理の差が大きくなり、差別化が進むのではないかと思います。

持続的に事業を継続するためには、例えば若い社員さんを雇用し続けることも要求されます。最近に入社する本人だけではなく親御さんも、安全に関する意識が高くなってきており、就職先を決定する上でのファクターになりつつあると思います。

今後も安全衛生法を遵守する意識を保っていただきながら、法令以上の管理・活動を進め、安全を確保し、さらに内外に安心を広げて、「昭和電工セラミックスさんなら安心だ」と思ってもらえることが事業を継続するうえで不可欠だと考えます。

5S活動への取り組み

働きやすい安全な職場環境づくりを目指し、職場ごと5S活動(整理、整頓、清掃、清潔、しつけ)に取り組んでいます。工場トップが率先して定期パトロールを実施しているほか、職場ごとに選任された委員を先頭に、目標・目的を明確にして自発的な取り組みを促しています。

改善提案制度・ヒヤリハット

安全衛生・環境保全・品質向上という3つの視点からみた気づきや改善のアイデアを全従業員が毎月用紙にまとめて提出し、これを部署間の垣根を越えて場内で共有しています。提案は、危険度の高い作業や場所の指摘、ムダな業務の改善や工程を工夫してコストを削減するなど幅広い分野に及び、優秀な提案へは年間表彰制度もあります。

快適な職場創り

経営側と労働組合で課題を共有し、事故や災害の無い職場、働きやすい職場創りのための諸施策を定期的に協議しています。議題は、市況を踏まえた生産概況や見通しから始まり、経営施策や安全衛生管理、健康経営、福利厚生と広範囲に及び、解決までには何度も協議を重ねる議案もありますが、安心・安全操業に欠くことのできない取り組みです。



組合研修会の様子

安全の取り組み

■ 場内安全パトロール

様々な視点から場内の危険源を点検するため、管理者パトロールや労使合同パトロール、テーマを限定した臨時パトロール、外部コンサルを招聘したパトロールなど多種多様な取り組みで災害の防止に努めています。気づいた点は、直接担当者へ伝え改善を促し、データベース上でも情報を共有し改善を行い危険の芽を摘み取っています。

■ 安全教育

協力企業を対象に安全に関する取り組みを行っています。年初には新年協力企業安全大会を開催し、事業所長挨拶、CSR グループリーダーによる安全講和などを行い、最後は全員で安全唱和を行います。また、定期的に協力企業代表者会議を実施し、安全に関する情報を共有しています。その他、新規に事業所へ入場する協力企業員に対する安全教育も行っています。



横浜工場 新年協力企業安全大会

■ 危険体感教育

あつてはならない労働災害を疑似体験して、安全の尊さを学ぶ教育を行っています。体験設備では、VRを用いたもののほか、作業者の手に見立てたダミー手袋の巻き込まれ、濡れた手で微弱電流に触れる感電など、各工場特有の作業を設定しています。安全はすべてに優先するので、新人・ベテラン問わず改めて職場の危険源への気づきや不安全行為を顧みる機会として活用しています。

■ 安全性審査

設備の新設、増設、改造、廃止等の工事並びに、試運転を実施するに際し、事前にその計画の安全性を審査します。また、環境や製品品質の面でも影響を評価し、問題点を明確にして適切な対応を図り、外部、内部に対する安全性を確保することも目的としています。

■ フォークリフト安全教育

場内の横持運搬には欠かせないフォークリフトですが、業務に追われ安全への配慮が疎かになりがちです。場内ルールの再確認と一人ひとりの安全意識高揚のため、外部講師に指導を仰ぎながら、倉庫内に設けた特設コースで実地訓練を行っています。全ての運転者に参加を義務付け、訓練結果は点数化し合否判定を行うので受講者の取り組みにも自然と力が入ります。



富山工場 フォークリフト安全教育

■ 熱中症教育

毎年6~9月の4ヶ月間、チェックシートを使用した健康チェックを行っています。睡眠や食事に関して該当する項目にチェックを付けることで、自身で体調管理ができていないかを確認しています。また、梅雨が明け本格的な暑さを迎える頃から熱中症注意喚起放送を行っています。暑さのピークである午後に、こまめな水分補給や休憩を適宜取るように呼び掛けています。

労働慣行



社員一人ひとりの労働意欲を高め、誰もが働きやすい職場づくりを推進します。



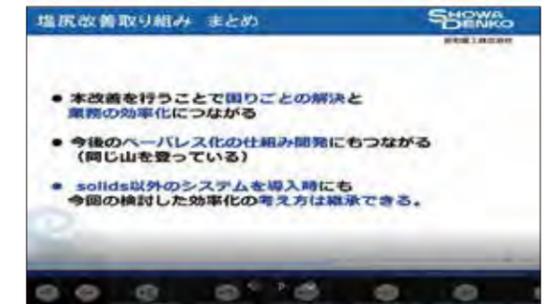
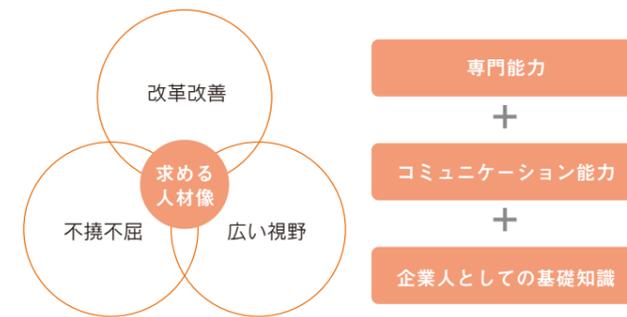
●人材育成方針を明確にして社員の能力を開発し、働きがいを持てる職場環境を整備します。

●社員が安心して働けるよう、安全かつ健康に配慮した職場環境を構築するための取り組みを徹底します。

人材育成の取り組み

当社では、求める人材像を明確にし教育体系を順次見直しています。以下の施策により、能力開発に意欲的な企業風土をつくっています。

- 1 職務に必要な知識を得るための階層別研修の充実
- 2 将来を担う社員の育成を目的とした選抜研修の実施
- 3 知識の幅を広げるための教育資料の定期配信



塩尻工場 人材育成の取り組みの一つ「武者修行」の最終報告会の資料

緊急事態への対応

■ 普通救命講習会

外部講師を迎え実際に起きた事例を参考に、被災者への適切な処置方法や緊急処置対応を学ぶ座学のほか、工場内に設置しているAED(自動体外式除細動器)を使った訓練を行っています。

■ 緊急時処置訓練

生産活動の中で起こりうる設備異常や環境異常を各工場・部門ごとに想定して、被害を最小限に抑えるための初期対応訓練を行っています。特に、工場周辺への影響が懸念される水質や大気に関する排水異常や漏洩対策訓練は、自動遮断弁や警報装置など設備対策に加えて、人の手による土嚢投入や目視確認といった抜けの無い訓練を心掛けています。



富山工場 緊急時処置訓練

■ 消防設備点検

万が一火災が発生した場合に消防設備が正常に作動するように、工場に設置された消火器や消火栓、自動火災報知設備の点検を年に2回実施しています。

点検は専門知識を持つ業者によって、外観による損傷等の確認や動作確認により機能の点検を行っています。また、3年に1回、消防署に点検結果の報告を行っています。

■ 備蓄管理

近年、全国各地で地震や台風・豪雨による自然災害が頻発しており、広範囲にわたり大きな被害が出ています。自然災害はいつどこで発生するのか分からないため、従業員の安全を守るうえでも防災備蓄品の準備は必要不可欠であると考え、保存水や食糧、毛布や簡易トイレなどを備えています。また、毎年備蓄品の点検を行い、消費期限が近い



横浜工場 防災備品倉庫内

ものは新しいものと入れ換え、従業員数の変動に応じて適正な分量を確保するようにしています。その他、非常用発電機などの動作確認も行っています。

■ 防災訓練

各工場を抱える代表的なリスクや災害発生を想定して、全員参加の防災訓練を実施しています。毎年、職場や災害の想定の内容を変えて作成したシナリオを基に、本番さながらに入場制限をかけ、緊急体制下の対策班ごとに訓練。除害活動や救出活動、周辺への影響調査など実態に即した緊迫感のある内容になっています。訓練直後には反省会を実施し、設備対策や翌年の活動への反映、防災体制の強化を図っています。



富山工場 防災訓練の様子



労働慣行

4 質の高い教育をみんなに
5 ジンダー平等を実現しよう
12 つくも責任 つかう責任

改善活動

SDK-S活動(塩尻工場)

SDK-S活動とは塩尻工場で推進している全員の力を結集し工場目標を達成する活動です。

各課・グループの課題の中で、重要なテーマはチームをつくり、メンバーで知恵を出し合いながら取り組みを進めています。

年2回の発表会、年3回の報告会・テーマリーダー会では毎回活発な議論が行われます。



塩尻工場 SDK-S活動発表会近畿中部地区大会

きときと活動(富山工場)

以前より取り組みを進めていた全社生産革新活動であるTPM活動を刷新し活動を促進させるため、2017年名称を社内公募し富山弁で“新鮮な“を意味する”きときと”を採用、課題意識も新鮮なうちに処置しようとの考えのもと再始動しました。きときと活動は、生産の効率を阻害するあらゆるロス・ムダの徹底的な排除により、災害ゼロ・故障ゼロ・不良ゼロを目指し、生産効率を極限まで高めていくことを目標に、新人・ベテラン問わず一年間かけて課題に取り組みます。

この活動では、製造・開発・設備・品質・スタッフ部門など全ての部門を対象に日常業務の中で感じる“こんな仕組みや取り組みがあったらいいな”を題材に、工夫を凝

らして改善を重ね、その成果を発表しています。発表資料は活動板に掲示したり作業ノウハウを纏めたワンポイントレッスンシートなどにして技術継承や情報の共有に努めています。

OASIS活動(横浜工場)

横浜工場で行っているOASIS活動は2019年の取り組みが認められ、昭和電工グループ・ダイバーシティCEO表彰で「優秀賞」を獲得しました。所属、世代、性別などバラバラのチームを編成し、場内美化、KYトレーニング、座談会に取り組んだ結果、工場全体の安全意識が向上し、工場内が綺麗になり、コミュニケーションの活性化につながります。

今後もOASIS活動に継続的に取り組むことで、従業員一人ひとりの意欲向上を図り、自主的な活動を展開していきます。



横浜工場 OASIS活動

IT、IoT活用促進

コロナ禍で急速に普及したりリモート業務やデータベースによる情報管理、各種用途に見合ったシステム構築などIT、IoTを用いた新しい働き方に取り組んでいます。

塩尻工場では、「コミュニケーション促進による生産性向上と組織の活性化」を目的にビジネス用SNS「Workplace」、「Workchat」や業務効率化のために「RPA」、「C-Mais」、「MPaCS」を導入しました。また、内線電話からスマートフォンに移行することにより、話したい相手に直接連絡することが可能となりました。

- Workplace、Workchat …… ビジネス向け SNS
- RPA …… コンピューター上の作業を自動化する技術
- C-Mais …… 塩尻 オリジナル 施工管理 システム
- MPaCS …… SDK オリジナル 工程管理システム

Workplace活用例(工場内異常発見情報連絡+改善報告)



C-Maisの操作画面

パンデミックの備え

行政からの通達や指導に従い、これまでのパンデミック指針を大幅に見直し、昭和電工グループは、本社直轄の一元管理による指導と対策、定期報告を実施しています。コロナ感染症対策として、緊急を除いた出張や外部活動の自粛、消毒・検温を基準とした厳しい自主管理を徹底しています。社内では共有スペースの利用に人数制限を設けるほか、飛沫拡散防止のためのパーティション設置、産業医指導による居室の除菌・湿度管理を行い、ウイルスを外部から持ち込まない・持ち込ませない努力をしています。

BCP(事業継続計画)の取り組み

自然災害や発災を起点とした緊急時に備え、企業の社会的責任として、事業を停滞させないための取り組みと仕組みづくりを進めています。ここ数年は異常気象による大雨や大雪、洪水など企業の生産活動にも大きな打撃を与えかねない未曾有の災害が頻発しており、被害想定も都度見直しを余儀なくされています。計画的に設備対策や手順書の見直しを行っています。

また、災害対策本部を中心に工場間で有事を想定し衛星電話やトランシーバーを駆使した情報集約と伝達の合同訓練を行い、対策の精度をより上げると共に、課題の掘り起こしを行っています。

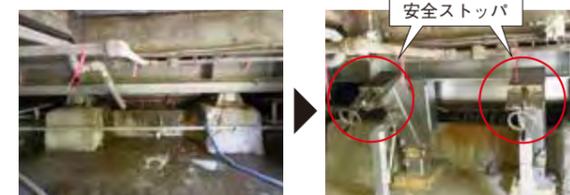


富山工場 BCP取組の様子

安全対策検討プロジェクト

2019年に発生した災害を受け、再発防止に向けた取り組みとして、工場設備の安全対策推進と技術者育成を目的とするプロジェクトチームを結成しました。リーダーを中心に迅速かつ円滑に計画立案及び提案、進捗管理を遂行できる体制を目指し、「安全対策、生産技術に関するプロジェクト」を発足させ、安全・安定操業基盤の確立に努めています。

「挟まれ・巻き込まれリスク抽出」及び「埋もれたリスク抽出」を推進した結果、2,982件(3工場合計)の危険点を抽出し2,278件の対策を行いました(2021年12月末現在)。現在、全件を詳細に確認しながらNHK(無くす、減らす、変える)の観点で設備安全対策を検討しています。



炉体下降防止前

炉体下降防止後

公正な事業慣行



公正かつ自由な競争を基本とした取引を行います。

- 独占禁止法を遵守し、公正な取引を行います。
- 各国の競争法を遵守し、公正な取引を行います。
- カルテルに参加しません。
また、それを疑われるような行動をとりません。



消費者課題



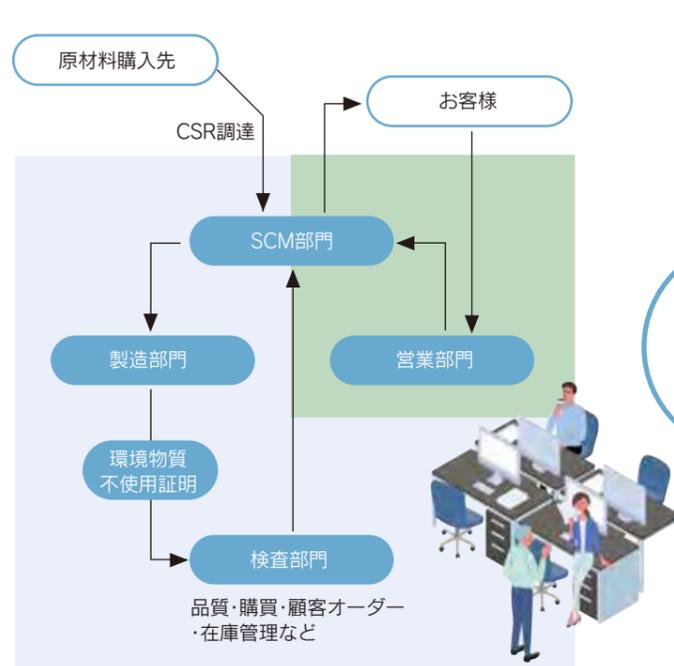
ビジネスパートナーと協働して、お客様の期待に応える製品を安定的に供給します。

- 製品・サービス、およびパンフレット・カタログ等にわかりやすく正確な表示をします。
- お客様に当社の製品を推奨・説明する際には、事実を正確に伝えます。
- 購入先を選定する際には、門戸を広く開放し、公平に比較して決定します。
- 発展途上国と取引を行う際は、その経済的自立を阻害することのないよう、適正な価格による継続的な取引を心がけます。



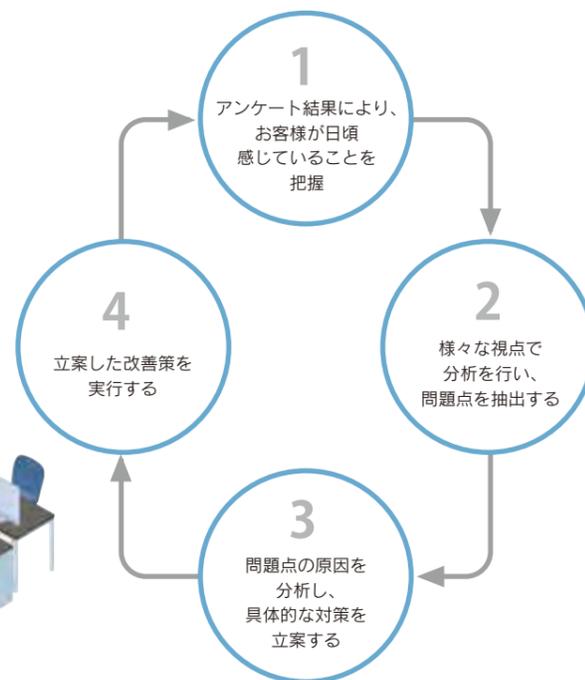
CSR調達

CSR調達は、「昭和電工グループCSR調達ガイドライン」をパートナーの皆様と対話を通して共有し、信頼関係をさらに強固なものとすると共に、協働で遵守することで、お互いの企業価値を向上させることを目指すものです。



顧客満足度調査(CS調査)

当社では年1回、製品の消費者であるお客様(企業)にアンケートを実施し、製品、品質、開発、改良、納期、包装、配送、サービス、価格等に対する満足度を調査しています。



マネジメントシステムの認証

当社では、国際規格の ISO9001、ISO14001、ISO45001 を取得し、工場内で規定した要領に従い生産活動を行っています。

品質保証体制

当社は、実用性および安全性に配慮した製品・サービスをお客様に提供するため、法令・規制要求事項を満たした製品、さらにはお客様にご満足いただける製品を提供できる仕組みを継続的に改善しています。

顧客満足を得るための品質保証体制	品質保証活動	●方針展開 ●マネージャーボード ●マネジメントレビュー ●内部監査
	一定水準の品質(性能等)の確保	●品質マニュアル ●製品検査項目 ●製品検査方法
	生産効率の向上、コスト削減	●多能化 ●ロス削減 ●収率向上
	新技術の普及	●新製品開発
	多能化の制御(最適化・単純化)	●マニュアル ●自動化
	互換性・インターフェースの整合性の確保	●SAP システム
	正確な情報伝達(相互理解の促進)	●セールスフォース
	製品の品質を守る	●お客様対応 ●製品リスク評価 ●工程異常報告
	従業員に配慮した規制づくり	●作業環境測定 ●危険度・影響度評価
	環境負荷物質(使用)の管理	●環境物質不使用証明書決裁システム



環境



レスポンシブル・ケアを推進します。

- レスポンシブル・ケアは化学物質を取り扱う企業が自主的に環境・安全・健康に取り組む活動のことです。当社グループのCSR活動の根幹にはレスポンシブル・ケアがあり、その実践を通じて、社会から信頼・評価される企業を目指します。



モノづくりに廃棄物は付き物という考えから脱却して、原料や製品の購入から製造・出荷、製品廃棄までのサイクルを通して廃棄物を出さないための様々な取り組みを進めています。

Reduce [リデュース]

従来であれば埋立廃棄物となる、家電製品や複数の素材からなる複合製品を、人の手を介して解体分別することにより、廃棄物ではなく有価物として生まれ変わらせます。

Reuse [リユース]

要らなくなったらすぐ捨てるのではなく、社内外で新たな活躍の場を求めて再利用の呼びかけを行っています。

Recycle [リサイクル]

リサイクル工程でCO₂排出削減をはじめとした環境負荷を抑える技術をもった委託先を開拓し、その協力を得てより環境にやさしいリサイクルを心掛けています。

「環境とやま県民会議会長表彰」を受賞!

循環型・脱温暖化社会の構築に向けた長年にわたる3R (Reuse/Reduce/Recycle)の取り組みが評価され、富山県と(公財)とやま環境財団から栄えある第1回目の「環境とやま県民会議会長表彰」を受賞しました。対象となった、5団体3個人3事業所はいずれも長期に渡り地道な活動を継続し、他の模範となるような取り組みや成果を挙げています。富山工場ではISO14001の規準に則り、廃棄物の削減やリサイクルを推進し、2007年に廃棄物に占める埋立比率を1%以下に抑えるゼロエミを達成。2015年には外部業者協力のもと、すべての廃棄物をリサイクルし埋立比率ゼロの完全ゼロエミを達成しています。



Stakeholder Voice

無から有を生む工夫



株式会社ヨシタニ
山腰 登 さん

場内協力企業として廃棄物管理に携わり5年を迎えます。近頃では、環境保全に係る国際ルールや法令が厳しくなり、ここ富山工場においても例外ではありませんが、まだまだ分別ルールが徹底されず、異物が混じっていると引取り業者様からお叱りを受け返却されることも多々あります。

特に、ここ数年は海外市場の影響を受けやすいプラスチックやOA 機器など電化製品の分別や、引取り条件が厳しくなったため処理業から撤退する会社さんも増えていると聞きます。そんな中、廃棄物ゼロの一步先を行くリサイクル・リユースが出来ないかと自分なりに工夫して場内で不要となったOA 機器や電化製品をはじめ金属と樹脂からできた複合部材を配線や基板・金属・プラに分解し市場の求める姿に変えることで粗大ゴミを有価物に生まれ変わらせることが出来ました。

ほんの少しの発想と行動が、場内の廃棄物削減だけでなく次の世代を見据えた環境保全や資源循環に役に立つことが出来、嬉しい限りです。

廃棄物削減の取り組み

昭和電工グループは、全社を挙げ廃棄物発生量の抑制および、ゼロエミッション※の達成を目標に掲げ、外部委託業者の協力を得て3R(Reduce・Reuse・Recycle)への取り組みを進めています。

また当社では、担当者が毎年委託先へ出向き、中間処理・最終処分状況を査察し、廃棄物が適正に処理・処分されていることを確認しています。

※ゼロエミ及びゼロミッションとは：排出される廃棄物をいかに処理するのではなく、それを再利用しあらゆる廃棄物量をゼロにすることを社会全体で目指すグローバルな取り組み。資源とエネルギーをできる限り有効に使用し、環境への排出をゼロに近づけ資源循環型の社会を目指すもので、国連大学が1994年に提唱した。昭和電工グループでは「最終埋立処分量が廃棄物発生量の0.5%以下」と定義している。

エコ事業所認定

2010年に富山県では、県内廃棄物の減量化、リサイクル推進を目的に「富山県リサイクル認定制度」が制定され、廃棄物を利用したリサイクル製品や廃棄物の減量化・リサイクルなどに積極的に取り組んでいる事業所の認定が開始されました。

認定の範囲は、リサイクル製品、資源回収拠点のエコス

テーション、エコ事業所の3分野にわたり、富山工場はゼロエミッションの達成やアルミ缶・エコキャップの回収・寄付およびLED照明の採用等の取り組みが評価され、2013年に県内6社目のエコ事業所に認定されました。認定された事業所は、県情報誌やHPに掲載され、広く内外へその取り組みが紹介されています。

リサイクル事例

異なった材質が一体化した複合製品や、新素材・リサイクル品を多用した廃棄物は分別やリサイクルが難しく、またリサイクル業者を取り巻く環境も今や国内ばかりでなく世界規模で厳しくなり、排出者に求め

られる責任も年を追うごとに増してきています。工場から排出される廃棄物は、場内での分別徹底を経て外部業者の技術協力により、そのほとんどがリサイクル品として広く利用されています。

ECO-RC砕石

自動車や大型のトラックが通行しても十分に支えられる強度を保つために、アスファルト下のしっかりとした層を作るための路盤材として利用されています。



再生プラ

金属片や異なる材質を含む成形品から異物を取り除き、フィルム状の軟質プラ・外装材や容器などに使われている硬質プラ・その他に分類。その後粉碎され、再生プラスチック原料に生まれ変わります。



再生塩ビ

場内設備から外された塩ビ配管には機器類や金属ボルト、芯材を含んだフランジが取りられているため、これらを取り除いた後に細断され再生塩ビ原料に生まれ変わります。成形されたものは再度塩ビ配管として利用されます。



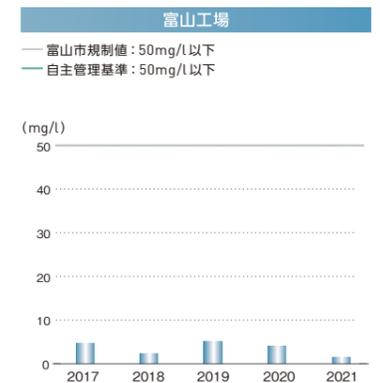
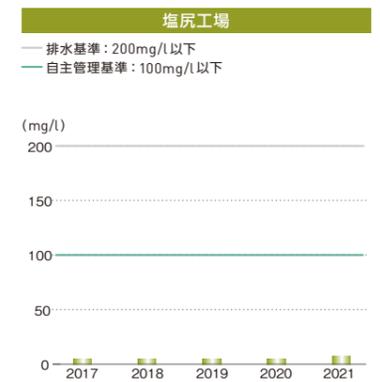
環境データ

水質データ 水質汚濁防止法による排出基準や地域との協定に基づく規制値を遵守しています。各工場では、地域との協定に基づく規制値より厳しい自主管理基準を設けています。環境維持のために、pH・SS・BOD・CODの常時監視を行い、排水監視の強化に努めています。(製品や立地により管理する項目が異なります)

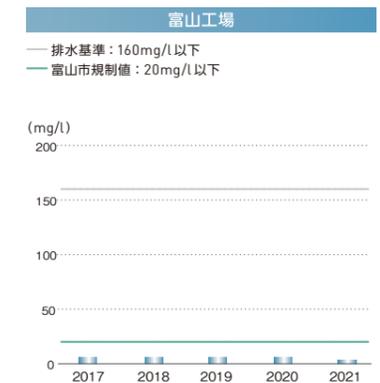
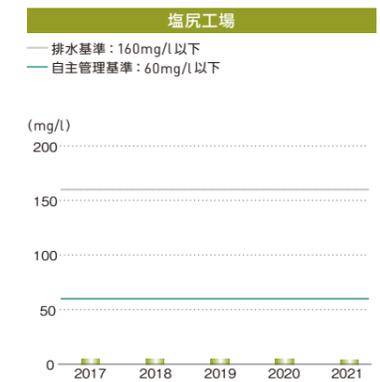
pH **水素イオン濃度指数**
物質の酸性・アルカリ性の度合いを示す物理量pH1~14の範囲で示される。pH7を中性としより小さい値は酸性、大きければアルカリ性を示す。



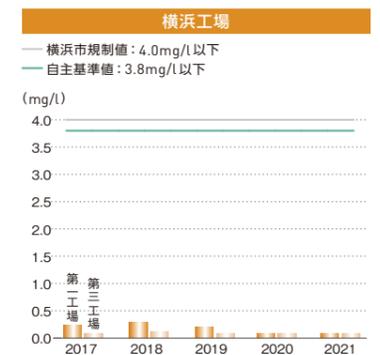
SS **水中に浮遊している物質**
水中に懸濁している直径2mm以下の不溶性物質のこと。



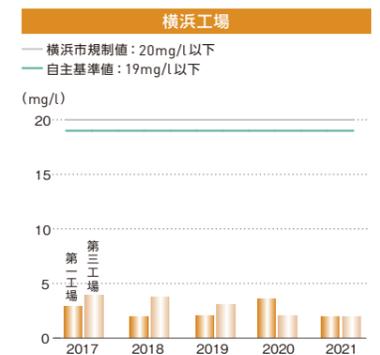
BOD **生物化学的酸素要求量**
有機物指標が微生物によって分解される際に消費される酸素量。数値が大きければ水中の有機物が多く汚染が著しい。



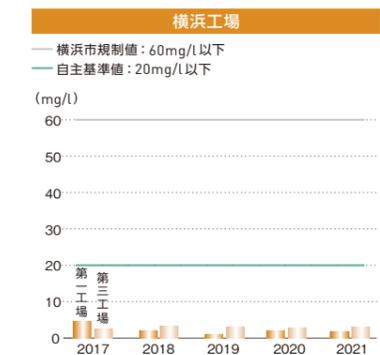
T-P **全リン**
リン化合物は窒素化合物と同様に、動植物の成長に欠かせない元素であるが、水中の濃度が高くなると水域の富栄養化を招くことになる。



T-N **全窒素**
窒素は水域の富栄養化の原因の一つであることから、栄養化のおそれのある湖沼、海域について環境基準(全窒素)、排水基準(窒素含有量)が設定されている。



COD **化学的酸素要求量**
水中の有機物を酸化剤で分解する際に消費される酸化剤の量を酸素量に換算したもので、海水や湖沼の水質の有機物による汚濁状況を測る代表的な指標。

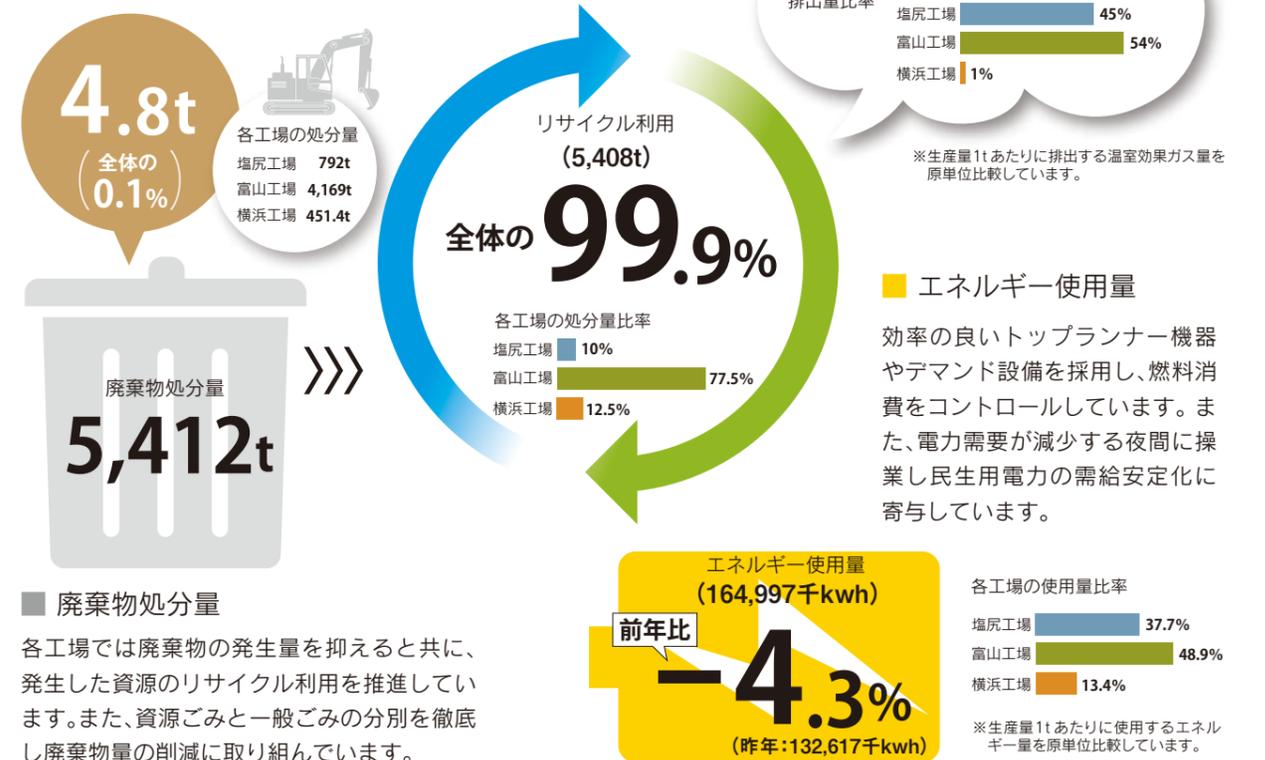


環境負荷低減の取り組み

生産活動によって生じる環境影響負荷を最小限に抑えるための取り組みを行っています。生産に不可欠な原燃料消費とこれによって排出される温室効果ガス・廃棄物埋め立て率に着目し活動を進めています。生産量に連動して変化する温室効果ガスやエネルギー使用量は原単位の削減、廃棄物は埋立率0.5%以下を目標に掲げています。

■ 温室効果ガス (GHG)

環境方針の項目に省エネルギーを重要課題として位置づけ、生産工程の見直し、運転最適化などによる省エネルギーを推進しています。温室効果ガスは燃料使用量と、他社から供給された電気・熱の使用量から算出された排出量に排出係数を掛けて算出されます。



発電設備の紹介

工場を稼働させていくうえで電力は重要ですが、限りあるエネルギーを有効活用するため、再生可能エネルギーの利用にいち早く着目し活用を進めています。

【塩尻工場】

信濃川水系上流の梓川の水力を利用し、戦後1950年(昭和25年)に赤松発電所の運用を開始。自社工場の電力供給だけでなく、地域の水利事業においても広く利用されています。年間発電量は一般家庭5,460世帯の年間使用量に相当します。また2013年からは、工場敷地内に東京ドームの半分ほどの面積のメガソーラー発電設備を誘致し、年間180,000kWhの発電量を得ると共に、年間844tのCO₂の削減にも大きく貢献しています。



【富山工場】

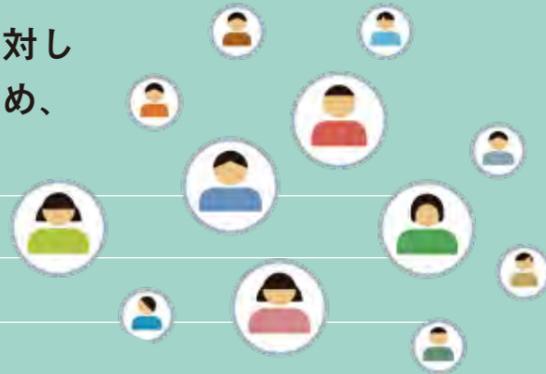
多くの電力を必要とする電解炉を用いた製造を主体としていた富山工場は、1954年(昭和29年)に電力会社を主体に民間企業11社が共同出資した発電所を神通川上流の岐阜県高山市の見座・葛山の2ヶ所に建設し運用を開始しました(現在は4社の出資)。年間300,000MWhを発電し、出資会社における消費電力を賄うだけでなく、地域の発展にも貢献しています。

コミュニティへの参画および コミュニティの発展



共創型化学会社として立地する国・地域社会に対し
適切に情報を開示し、コミュニケーションを進め、
相互理解を深めます。

- 地域社会の一員として、率直なコミュニケーションを図ります。
- 文化・宗教・歴史・慣習など、地域の特性を理解、尊重します。
- 地域社会に的確に情報を提供し、ご理解いただくよう努めます。
- 周辺地域の安全や環境に影響を与える可能性がある事態が発生した場合は、速やかに適切なルートで情報を発信します。
- ボランティア、文化活動、レクリエーションなど、様々な活動に地域社会の一員として参加します。



アルミ缶リサイクル活動

当社では2001年より全従業員がアルミ缶リサイクル活動に
参加しています。

工場内で購入したアルミ缶だけではなく、各家庭から出た使
用済みアルミ缶の一部を工場に持ち込んで回収しています。回
収したアルミ缶の収益金の一部は、地域の小中学校や社会福祉
事業団へ寄付され、社会貢献活動として定着しています。



富山工場 収益金寄付の様子

- 2021年 塩尻工場 ● 市内小学校へタブレット用タッチペン280本 (56,000円相当)
寄付実績 富山工場 ● 市内小学校へ教材購入費として (68,600円)
横浜工場 ● 神奈川新聞厚生文化事業団へ寄付 (21,200円)

Stakeholder Voice



横浜工場
CSR グループ環境安全チーム
博多屋 健市

非常用食料を横浜市神奈川区フードドライブに寄贈

これまで、賞味期限が近づいた非常用食料は入れ替えのため従業員に配布してしま
したが、今回初めて神奈川区フードドライブ(神奈川区地域振興課)に寄贈しました。

フードドライブとは、家庭などで使い切れない未使用食品を持ち寄り、地域の福祉施設・
団体などに寄贈する活動のことで、集められた食品は子ども食堂やひとり親家庭などの食
品を必要としている施設や人々へ届けられます。

横浜工場ではSDGsに取り組んでおり、その一環として当工場で作れることを考え、フ
ードドライブに寄贈することにしました。区の担当者からは、区内企業からの寄贈の申し入
れは初めてであるとのことでした。こうした取り組みは、SDGsの目標の一つである「飢餓を
ゼロに」の課題解決に繋がる一歩だと考えていますので、今後も継続していきます。

また、CSRレポートを読んでくださる昭和電工セラミックスの従業員をはじめとする
すべてのステークホルダーにとって、SDGsについて考えるきっかけになってくれたら嬉し
いです。

SDGsの取り組み

2019年にSDGsへの本格的取り組みを開始し、工場間を
オンラインで繋いだ集合教育を実施しました。

塩尻工場は長野県SDGs推進企業への登録など出来る
ところから着々とその歩みを進めています。

富山工場は2020年富山市が推進する【SDGs未来都市
とやま】に賛同し、サポーター登録しました。

横浜工場は、横浜市SDGs認証制度“Y-SDGs”※に登録
し、上位ランクであるSuperiorに認定されました。

社員証へのSDGsのロゴ掲出などによる従業員一人ひ
とりへの意識付けや活動への参画を促し、取り組みをさ
らに推進しています。

※参考:横浜市SDGs認証制度“Y-SDGs”には
【最上位】Supreme【上位】Superior【標準】Standardのランクがあります。



SDGsへの取り組み

レクリエーション

同じ工場でも働いていても、職場が離れていたり勤務時間
帯が異なると顔と名前は知っていても話したことも無い
といったように、従業員同士でも中々お互いを知る機会が
ありません。円滑なコミュニケーションとアイデンティティ
の創出に加え、従業員の家族にも広く会社の取り組みを理
解していただくよう、各工場で世代や職制の垣根を越えて
楽しめる様々なレクリエーションを企画しています。社
内の厚生施設を利用したスポーツレクや、季節ごとのハイ
キングツアーなど皆で楽しみながら健康増進にも一翼を
担う活動を進めています。



富山工場 レクリエーション・フットサル活動

プラスチックリサイクル活動

ペットボトルのキャップをはじめとしたプラスチック
類の回収活動を行っています。回収されたプラスチック
類は、形状別に分別し専門業者に買い取っていただき、そ
の売却益は買取業者を経由して日本赤十字社の活動に役
立てられています。

また、プラスチックごみをリサイクルすることにより
廃棄焼却時に発生するCO₂の削減にも役立っています。

- 2021年実績
富山工場 ● 日本赤十字社富山支部へ (176,976円)

美化活動

工場周辺の道路や緑地帯の清掃活動を行っています。
また、「工場ショールーム化」のキャッチフレーズのもと、
自然環境との調和、地域の景観に溶け込んだ美しい工場
を目指し、場内の植樹や緑化管理・荒地整備など、地域
の方に親んでもらえる工場となるための取り組みを推進
しています。



横浜工場 美化活動 ゴミ拾い

ストレスチェック制度

2015年12月1日から、労働安全衛生法の一部を改正す
る法律により、ストレスチェック制度が施行されました。

- 1 働く人がストレスによって心の健康を損ねる
ことを未然に防止する
- 2 働く人が自分自身のストレスに気づいて対処する
- 3 働きやすい職場の実現

以上3項目が大きな目的です。

当社では、定期健康診断と併せて簡単な質問に対して
回答するストレスチェックを実施しています。今後も働
く人の心の健康を守る取り組みを実施していきます。

2022年CSR行動計画

◎:当初計画より大きな効果あり ○:有効な効果が得られた/継続的に実施
 △:計画していた結果を得られなかった/見直しが必要



	2021年計画	2021年実績	評価	2022年計画
人権・企業倫理・コンプライアンス	人権啓発活動を着実に推進する	e-learningにて基礎研修実施	○	人権啓発活動の継続
	コンプライアンスと企業倫理を定着させる	改定私たちの行動規範と実践の手引きの読み合わせ 集合学習の教材を用いてグループ内でワークショップ	○	改定私たちの行動規範を活用してグループワークの継続・充実
RC体制	リスクの棚卸を継続する	リスク管理表・評価表の見直し実施	◎	リスク管理の継続
	クライシス対応の強化	防災訓練、事象別対応訓練、BCP対応訓練の実施	◎	緊急時対応強化
	BCP(事業継続計画)策定	設備の耐震化工事の実施	○	BCPからBCM(事業継続マネジメント)へ移行準備
	マネジメントシステム(RC/QMS/EMS/OHSAS)の効率的な運用	ISO審査指摘事項反映	○	更新審査に向けた適切な対応
	各種教育体制の充実	階層別教育を実施	○	教育内容及び体制の充実
	RC監査体制の充実・RC実績把握のスピードと信頼性向上	各課実績検討会での報告実施	○	スピードと信頼性の向上
労働慣行	多様性の推進に向けた取り組みを実施する	障がい者雇用の促進	○	多様性の推進継続
公正な事業慣行	CSR調達対象範囲を拡大する	CS調査の実施	○	CS調査の継続
設備安全	再発事故防止	災害の水平展開によるリスク抽出と対策実施 協力企業特別措置実施基準作成	○	「創る安全」活動の完全定着
	自主保安	保安監督者の育成	○	設備安定化、保安監督者増員
労働衛生	衛生管理体制の強化(関係会社・協力企業含む)	各種教育、職場安全衛生会議の実施	○	管理体制の強化
	作業環境・作業方法の改善	熱中症対策の充実、作業別のバトロール実施による指摘と改善	○	作業環境・作業方法の改善
	快適な職場の形成	室内完全分煙化(就業時間内禁煙)	○	転倒・つまずき災害撲滅
健康管理	昭和電工グループいきいき健康づくりプランの推進	ウォーキング大会、座禅会実施	◎	昭和電工グループいきいき健康づくりプランの継続
	健康管理の強化	健康診断受診率100% ストレスチェック制度実施	◎	健康管理の強化、ストレスチェックの適切な実施と活用 健康経営を目指した活動
産業廃棄物の減量化、再資源化の促進	産業廃棄物の減量化	埋立廃棄物をリサイクルへの転換実施 ばいじんリサイクル化 工程内のモレ・コボレ防止対策による廃棄物削減	◎	ゼロエミッション継続
	再資源化の促進	アルミ缶、廃プラリサイクル活動 分別の徹底	○	再資源化の具体化 プラリサイクルの推進
水資源リスク対応	水資源リスク低減	地下水の水質調査実施	◎	水資源の定期監視

立ち止まらず、未来へ。 持続可能な社会実現のために。

私たちにとってCSRの実践は、
 ステークホルダーまた地域の方々との信頼関係構築に繋がる大切な使命です。
 今後もいかなる環境下にあってもサステナブルな社会づくりへ貢献できる
 柔軟な体制づくりに努め、安定的に事業を継続することで社会的課題へ対応し、
 社会の健全な発展・進化に貢献していきます。